

第3期 江別市総合戦略骨子（案）

令和6（2024）年9月
江別市

I 第3期総合戦略策定の目的・背景、留意した事項

(1) 第3期総合戦略策定の目的・背景

- ・国では、急速な少子高齢化に対応し、人口減少に歯止めをかけ、東京圏への過度な一極集中を是正するため、平成26（2014）年に「まち・ひと・しごと創生法」を施行、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」による地方創生を開始。令和元年に第2期総合戦略を策定。
- ・江別市においても、平成27（2015）年に第1期江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、令和2（2022）年に第2期総合戦略を策定するなど、地方創生の取組を進めてきた。
- ・国は、令和4（2022）年12月に、第2期総合戦略を抜本的に改定し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定。
- ・この度、江別市においても、これまでの地方創生の取組を承継しながら、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案し、デジタル技術の活用を下支えとした第3期となる総合戦略を策定する。

(2) 骨子（案）の作成にあたって留意した事項

- ・前述のとおり、第2期の総合戦略で設定した方向性は維持しつつ、社会情勢の変化や国のデジタル田園都市国家構想総合戦略で示す方向性など、以下の点を新たに留意して骨子（案）を作成した。
 - ① デジタル田園都市国家構想総合戦略で示す、デジタルの力を活用した地域の社会課題の解決
 - ② 第7次江別市総合計画の策定による「えべつ未来戦略」との整合
 - ③ ラピダス社や北海道ボールパーク等の道央圏への立地の機をとらえた企業誘致等の取組の推進
 - ④ アクティブシニアの活躍と積極的な地域参加の促進
 - ⑤ 市内での居住外国人数の増加等に伴う、多様な主体が活躍する共生のまちづくりの推進

Ⅱ 第3期江別市総合戦略の章立て（案）

第1章 これまでの地方創生の実績と江別市の現状

- 1 社会情勢等の変化
 - (1) 人口減少・少子高齢化の急速な進行
 - (2) 新型コロナウイルス感染症がもたらした影響
- 2 第2期江別市総合戦略の実績と現状認識
 - (1) 第2期江別市総合戦略の数値目標の達成状況
 - (2) 江別市の人口推移
 - (3) 江別市の人口動態
 - (4) 江別市の学生数
 - (5) 江別市の在住外国人数

第2章 第3期江別市総合戦略の策定

- 1 総合戦略の目的や位置づけ
 - (1) 目的・背景
 - (2) えべつ未来づくりビジョン（第7次江別市総合計画）との関係
 - (3) 推進期間
- 2 総合戦略の基本的な考え方
 - (1) 本市の目指すべき理想像（地域ビジョン）
 - (2) 目指すべき将来の目標人口
 - (3) DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- 3 総合戦略の構成
 - (1) 総合戦略の体系
 - (2) 基本目標
- 4 総合戦略の推進
 - (1) 協働による取り組み
 - (2) 広域連携・地域間連携による取り組み
 - (3) 地域資源や地域特性を生かした取り組み
 - (4) デジタル技術を活用した取り組み
- 5 総合戦略の進捗管理

第3章 地域ビジョンの実現に向けた具体的な施策

- 基本目標1 持続可能で元気な経済をつくる
- (1) 数値目標
 - (2) 基本的方向
 - (3) 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）
 - (4) 施策を支えるDXの視点

- 基本目標2 えべつへの新しい人の流れをつくる
- (1) 数値目標
 - (2) 基本的方向
 - (3) 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）
 - (4) 施策を支えるDXの視点

- 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- (1) 数値目標
 - (2) 基本的方向
 - (3) 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）
 - (4) 施策を支えるDXの視点

- 基本目標4 みんなで支え合い、安心して暮らせる
共生のまちをつくる
- (1) 数値目標
 - (2) 基本的方向
 - (3) 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）
 - (4) 施策を支えるDXの視点

※ 下線は、第3期から新たに加えようとする項目

Ⅲ 総合戦略の基本的な考え方（案）

（１）本市の目指すべき理想像（地域ビジョン）

- ・国のデジタル田園都市国家構想総合戦略では、地方公共団体は、地域が抱えるそれぞれの社会課題の解決のため、自らの 地域ビジョン（地域が目指すべき理想像）を描き、取組を進めて行くものとしている。
- ・江別市では、「えべつ未来づくりビジョン（第7次江別市総合計画）」で掲げる、将来都市像『幸せが未来へつづくまち えべつ』の実現に向けたまちづくりを進めており、充実した交通アクセスや四つの大学が市内に立地する優位性などを最大限に生かしながら、人にも企業にも選ばれるまちとなるため、以下の 地域ビジョンを掲げ、これからの人口減少社会に立ち向かっていく。

【人が集い、行き交う、にぎわいのあるまち】

-集う-

- ・子育て世代を中心とした市外からの移住や市内における定住促進
- ・道央圏への産業集積の機をとらえた企業誘致

-行き交う-

- ・市内4大学が立地する特性を生かした取組の推進と大学との連携強化
- ・充実した交通アクセスを生かした人の流れの創出、周遊観光の促進

-にぎわい-

- ・中小企業等の事業活動支援による市内経済の活力維持
- ・保護者が働きながら安心して子育てできる環境の整備

（２）目指すべき将来の目標人口

- ・今後も、将来を担う子育て世代などの若い方々に江別市を選んでいただけるような取組を行いながら、今、市内で活躍されている方が、年齢を重ねても安心して住み続けられる住み良いまちづくりを進めることにより、第7次江別市総合計画策定時に実施した人口推計を上回る人口を目指す。

（３）DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

- ・市民生活の利便性の向上や、質の高い暮らしの実現に受け、地域社会や行政を取り巻く課題について、デジタル技術を活用して解決していくため、地域全体でDXを推進していく。

IV-1 地域ビジョンの実現に向けた具体的な施策（案）

基本目標1 持続可能で元気な経済をつくる

【骨子（案）作成時におけるたたき台】

数値目標	（素案において検討）
基本的方向	<ul style="list-style-type: none">○ <u>道央圏への産業集積の機をとらえた企業誘致</u>○ <u>中小企業等の事業活動の支援</u>○ <u>農業の生産性の向上等を目的としたスマート農業の推進</u>○ 地域資源の面的連携による周遊観光の促進 <p>※ 下線は、第3期から新たに加えようとする項目</p>
具体的な施策 K P I	（素案において検討）
施策を支える DXの視点	（素案において検討）
【参考】	国のデジタル田園都市国家構想総合戦略で掲げる取組方針 「地方に仕事をつくる」 【スタートアップ・エコシステムの確立】 【中小・中堅企業DX】 【地域の良質な雇用の創出等】 【スマート農林水産業・食品産業】 【観光DX】

IV-2 地域ビジョンの実現に向けた具体的な施策（案）

基本目標2 えべつへの新しい人の流れをつくる

【骨子（案）作成時におけるたたき台】

数値目標	（素案において検討）
基本的方向	<ul style="list-style-type: none">○ 江別市の価値を高めるシティプロモーションの推進○ 子育て世代を中心とした市外からの移住や市内における定住促進○ 市内大学や関係機関、他自治体と連携した市内4大学の在学生・卒業生の地域定着や関係人口の増加に向けた取組の推進○ <u>若者を惹きつける魅力ある大学づくりの支援</u> <p>※ 下線は、第3期から新たに加えようとする項目</p>
具体的な施策 K P I	（素案において検討）
施策を支える DXの視点	（素案において検討）
【参考】	国のデジタル田園都市国家構想総合戦略で掲げる取組方針 「人の流れをつくる」 【地方への移住・定住の推進】 【「転職なき移住」の推進など地方への人材の還流】 【関係人口の創出・拡大等、二地域居住等の推進】 【地方大学・高校の魅力向上】 【女性や若者に選ばれる地域づくり】

IV-3 地域ビジョンの実現に向けた具体的な施策（案）

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【骨子（案）作成時におけるたたき台】

数値目標	（素案において検討）
基本的方向	<ul style="list-style-type: none">○ <u>子育てや子どもの成長を地域全体で支える切れ目のない支援体制の構築</u>○ <u>保護者が働きながら安心して子育てできる環境整備の推進</u>○ <u>結婚への希望をかなえる取組の実施</u>○ <u>外国語教育や教育DXの推進による学習環境の向上</u> <p>※ 下線は、第3期から新たに加えようとする項目</p>
具体的な施策 K P I	（素案において検討）
施策を支える DXの視点	（素案において検討）
【参考】	国のデジタル田園都市国家構想総合戦略で掲げる取組方針 「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 【結婚・出産・子育てへの支援】 【仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり】 【子ども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進】

IV-4 地域ビジョンの実現に向けた具体的な施策（案）

基本目標4 みんなで支え合い、安心して暮らせる共生のまちをつくる

【骨子（案）作成時におけるたたき台】

数値目標	（素案において検討）
基本的方向	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道や近隣自治体との連携による効率的・効果的な行政サービスの推進 ○ 健康寿命の延伸のための健康づくり活動の推進 ○ <u>アクティブシニアの活躍と積極的な地域参加の促進</u> ○ 性別、年齢、国籍、文化の違い、障がいの有無などに関わらず、多様な主体が活躍する共生のまちづくりの推進 ○ <u>国際理解の推進と在住外国人への情報提供の充実</u> ○ <u>持続可能な公共交通ネットワークの構築の推進</u> <p>※ 下線は、第3期から新たに加えようとする項目</p>
具体的な施策 K P I	（素案において検討）
施策を支える DXの視点	（素案において検討）
【参考】	<p>国のデジタル田園都市国家構想総合戦略で掲げる取組方針 「魅力的な地域をつくる」</p> <p>【デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成】【医療・介護分野でのDX】【地域交通・物流・インフラDX】【多様な暮らし方を支える人間中心のコンパクトで緑豊かなまちづくり】【地域資源を生かした個性あふれる地域づくり】【地域コミュニティ機能の維持・強化】</p>